

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

NEWSaka

2017.11
No.25

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝



たわわに実った柿

- 1 写真（たわわに実った柿）
- 2 全体学習「医療安全に求められる接遇」
- 3 看護部門地域開放講座
- 4 反核平和自転車リレー（ピーチャリ）に参加して
- 5 職場紹介（救急病棟・外来）、食養室管理栄養士から（18回目）
- 6 青空健康相談会
シリーズ17回目リハビリ室のお仕事
- 7 11月外来診療案内
- 8 インフォメーションほか

病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、
共感・協同・平等・安全の
医療をめざします。

10月全体学習会

◇テーマ：「医療安全に求められる接遇
～思いやりを表す～」

◇講師：志伯 暁子氏

(キャリアトーク代表 研修講師・話し方コンサルタント)

患者・ご家族様に病院を快適に 利用してもらうために

10月19日(木)の午後の全体学習会は病院セミナー室において60名以上が参加し、標記テーマで開催されました。主催は接遇・環境改善委員会です。

はじめに接遇・環境改善委員会委員長の佐藤安紀子副看護部長があいさつしました。『今回は改めて接遇について考えて見直す機会として設定しました。コミュニケーションの大切さを身近な課題としてとらえていただき、この学習会を糧にすぐ現場で役立てほしい。』と述べました。

講師の志伯氏は自己紹介後、まずは、参加者にも隣同士での自己紹介を指示し、実践参加型の内容で最初から非常に盛り上がりました。



あいさつする佐藤副看護部長



お話しする志伯暁子氏

サービスと ホスピタリティ

次に、市民(患者)の要求・グレードは上がってきているとして、一般的なサービスとホスピタリティについて説明されました。サービスについて、私たちがやらなければならない事だが、やらないと起こることはクレームと不信感であり、また、ホスピタリティはお客様の期待であり、やるべきことは改善と工夫が常に要求されると述べました。お客様(患者)の基本的欲求の内容、顧客満足から顧客感動への必要性を述べ、さらに思いやりの三要素(目配り、気配り、心配り)の重要性も強調されました。

接遇力を磨く

第一印象の重要性について述べました。初対面の人には不安感・好奇心(期待感)を持つことの自覚が必

要であり、第一印象で「重要人物、信頼できる人」のイメージを与えることが次につながるとして、あいさつの大切さを述べ、ただ「おはようございます」だけでなく10秒間でのあいさつを試してみようと呼びかけ、再び隣同士で実践してみました。参加者はコミュニケーション上の必要性を実感したようです。



おじぎの仕方実践

また、接遇力アップのポイントについて、明るい笑顔・あいさつなど数項目あげ、寄り添う気持ちの重要性を強調しました。そして、笑顔の効果やあいさつ(心を開いて相手と向き合うこと)など説明がされ、ここでも笑顔の作り方やおじぎの仕方など実践しました。大切な三つの「こ」として「心、言葉、行動」をあげ三位一体であることの大切さを指摘されました。

さらに、基本的な立ち居振る舞いや身だしなみのチェックなどについても説明されました。

思いやりのある言い方

クッション言葉(お願いや、お断りするとき、立ち入った質問をする時など活用し不快感を和らげる)や依頼文、否定文、避けたい表現、そして聞き方・話し方など説明されました。具体的に様々な例題を通しての実際にあるべき対応の仕方について参加者がペアになっての実践もありました。

参加者からは、『今まで気づかなかったことや患者様にきちんと対応できていなかった様々な指摘があり、今後意識して対応できるようにしていきたい。』など同様の感想が多くありました。

「地域包括ケア時代に必要な知識」を学ぶ

9月24日(日)の午前に坂総合病院2階セミナー室において、地域の医療機関などからの関係者を迎え、認定看護師による地域開放講座を行ないました。

認定看護師による地域開放講座は、(公財)宮城厚生協会として年に4回 坂総合病院、長町病院、泉病院、古川民主病院で企画されてきました。

今回は、認定看護師による地域包括ケア時代に必要な知識として、地域に向けた坂総合病院独自の企画として、日頃の相談内容の中でも最も多いテーマ2講演を実施しました。

◇第1部

テーマ：「高齢者の皮膚トラブルと予防的スキンケア」

講師：中川 明子 看護師
(皮膚・排泄ケア認定看護師)



予防的スキンケアの内容では、高齢者に起こりやすい失禁関連皮膚障害(いわゆるオムツかぶれ)やスキントア(皮膚の裂傷)を中心に説明がされました。愛護的な予防ケアの一つとして、正しい医療テープの剥がし方などもお互いに体験してみました。

◇第2部

テーマ：「標準予防策の落とし穴」

講師：残間由美子 看護師
(感染管理認定看護師)



標準予防策の内容では、感染予防に使用している言葉の解釈の違いから起こる行動の違いについて具体例で説明がされました。参加者からは、エビデンス(科学的根拠)に基づいたわかりやすい講義だったと評価をいただきました。

講義終了後は約30分、個別相談や質問に答える時間をもち、活発に質疑応答があり、参加者の様々な相談に対応しました。



質疑応答の様子

日頃から医療連携している病院の方々にご参加いただき、具体的な情報交換もできて、顔の見える研修会となりました。

今後も、他の認定領域における地域開放講座を企画しながら継続していく予定です。

反核平和自転車リレー（通称：ピーチャリ）に参加して

楽しく行動し、平和活動を
盛り上げていきたい

クリニック診療サービス課 上田 克幸

街頭で平和アピール行動



9月18日（月）に、宮城民医連の第10回反核平和自転車リレー（通称：ピーチャリ）が開催されました。台風の影響で中止も考えられた今年のピーチャリでしたが、多少の予定変更のみで無事に開催することが出来て、本当に安心しました。

参加者は約50名で、第一部はそれぞれランニング、自転車、応援、昼食準備係に別れて行動しました。ランニング、自転車チームは実行委員長の千葉茂樹医師先導で、つばさ薬局長町店から若林クリニックまでを走り、途中数カ所の街頭でプラカードを持ってスタンディング平和アピール行動をしました。その後ゴールの若林クリニックにて、バーベキュー、豚汁、おにぎり、漬物等々をいただき、参加者と交流しながら第一部を終えました。

「きらきら発電」についての学習



さあ、出発



お疲れさまでした

第二部は、若林クリニックの水戸部秀利医師を講師に迎え、「エネルギーと環境や平和を考える」というテーマで、「きらきら発電」についての学習会が開催されました。きらきら発電所設立までと運営の仕組み、石炭火力発電の危険性、再生可能エネルギーの潜在力など多岐にわたるお話でたくさん学びました。

現在日本では原子力発電所が再稼働したり、仙台港に関西電力系石炭火力発電所（仙台パワースター



仙台パワーステーション

ション）が運転を開始しています。

確かにこれらにもメリットはあるのかもしれませんが、あの東日本大震災を考えると遥かにデメリットの方が大きいと思います。その中で自然の力を活用し、地球環境にやさしい電力を生み出すこの「きらきら発電」は、今後の日本にとってとても貴重な存在になると思います。

あの震災を経験した被災者目線から考えると、災害の時に電力が確保できるという利点はとても重要なポイントの一つです。

なかなか水戸部医師から直接お話を伺う機会が無かったので、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

今年のピーチャリには初参加の職員がたくさんいました。同期や後輩、事務の先輩の方々とのような活動を一緒に出来ること、本当に嬉しい気持ちで一杯です。

今後もし少しでも興味を持ってくださる方々と協力したい、楽しく平和活動を盛り上げていきたいと思っています。



救急病棟スタッフのみなさん

【救急病棟】 夜間、入院が必要となった患者様の一時的な休息地として、12床のベッドを稼働させています。救急スタッフは医師の指示を受けながら、同時に患者様やご家族への看護に全力を注ぎ、安心・安全にも努めています。翌日の日中には退院か一般病棟への転室をし、継続する治療や看護をスタッフへ申し送ります。

【救急外来】 当職場では老若男女、症状、昼夜を問わ

ずあらゆる疾患に対応します。歩行来院の患者様はもちろん、救急車からの救急要請にも応えており、昨年度は救急搬入だけで3,000件以上を受け入れました。重症疾患や心肺停止状態、臨時の心臓カテーテル治療、手術等が発生した際にも、患者様の状態安定や安全を確保した上で各病棟やICUへ管理を依頼し、搬送に至るまで担当します。

【スタッフ】 救急スタッフは看護師20名の他、クリニック外来や内視鏡センターの看護師十数名で昼夜の外来、病棟対応をしています。救急医は後期研修医を含め3名が常勤しており、初期研修医の救急初期対応をサポートし育成に励んでいます。短時間とはいえ、容態変化の激しい患者様を複数受け持つという切迫した状況が続くことが多く、常にチーム間や他職種とコミュニケーションと取りながら連携し今日に至っています。

坂総合病院食養室 管理栄養士から

管理栄養士 鈴木 亜紀



第十八回

いま話題！「ロコモってなに？」

みなさんは“ロコモ”という言葉を知っていますか？
長寿大国となった日本では、要介護（要支援）と認定される方が増加しています。バランスの良い食生活や運動を取り入れた生活を心がけ、健康な体作りをしましょう！

ロコモ

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の略称です。運動器の障害により要介護（要支援）になるリスクが高い状態のことをいいます。加齢によって骨・筋肉・関節などの機能が衰えることで、生活の自立が困難となり、閉じこもりや寝たきりになることが主な原因です。人間は骨・筋肉・関節に支えられて生きています。運動機能を維持するためには、普段の食事が大切です。主食・主菜・副菜に牛乳や果物を取り入れて、栄養をきちんと食事から摂ることを心がけましょう。



食生活でロコモ対策

- ◎1日3回の食事をバランスよく摂りましょう！
- ◎無理なく続けることが大切です！
- ◎楽しく食べる工夫をしましょう！

バランスの良い食事を実現させるためには、暮らし全体から食事を考えることが大切です。

〈食事のポイント〉

1. 食事を楽しみましょう。
2. 1日の食事のリズムから健やかな生活リズムを。
3. 主食・主菜・副菜の基本をしっかりと。
4. ご飯をしっかり食べましょう。
5. 野菜・果物・牛乳・乳製品・豆腐・魚を組み合わせる。
6. 食塩・脂肪は控えめに。
7. 適正体重を知り、日々の活動量に見合った食事量を。
8. 食文化や地域の産物を生かして、時には新しい料理も。
9. 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく。
10. 自分の食生活を見直しましょう！



青空健康相談会開催 各種測定しながら 対話も弾む



ヨークベニマル多賀城店の様子

10月12日（木）の午後、ヨークベニマル多賀城店で青空健康相談会が行なわれました。

買い物客の方約20名が相談コーナーに寄ってくださり、血圧・体脂肪そして握力測定をしました。「握力測定は中学生以来だな」という方もおり、日常的には身長・体重などは測っても確かに握力測定はこんな機会しかないのでしょうか。

中には上が200以上という数値の高血圧の方もいて、薬は飲んでいないとのことだったので早期の受診を勧める場面もありました。

翌日の13日（金）はイオンタウン・ビッグ塩釜で行なわれました。

この日は年金支給日ということもあり、店内はいつもより人通りが多く、相談コーナーにも30名以上の方が立ち寄り、体調のことなどで対話も弾み、血圧・体脂肪・握力測定などしながら一喜一憂する状況もありました。



ビッグ塩釜の様子



痙縮外来の担当医師

シリーズ

さまざまなりハビリテーション

第17回
けいしゆく
痙縮外来チーム紹介②

理学療法士 丹内 清人

前々回に引き続き、リハビリ室痙縮（筋肉のこわばり・突っ張り）外来チームについて紹介していきます。今回は注射前後で、療法士が行なっている評価内容を簡単に説明したいと思います。

まず身体機能として、麻痺がどの程度残存しているかを確認します。また筋肉の突っ張る程度や硬さを関節の動きを確認しながら診ていきます。

次に患者様に歩行などの日常動作をしてもらい、痙縮が動作に与えている影響を確認します。さらに問診をしながら日常的に困っている動作の確認や痛みの確認、運動習慣などを伺っていきます。

一連の検査・測定後に、患者様と目標を立てて共有し、1ヵ月後に達成度合いの確認をさせていただきます。

また評価とは別になりますが、ホームエクササイズを提案し目標達成のために必要な運動を指導させていただきます。



リハビリ室

外 来 診 療 案 内

2017年11月

坂総合病院（本院）

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	午前	○				○		
	午後					○		
神経内科	午後	○						
消化器科	午前	○	○	○	○	○		
	午後		○			○		
緩和ケア科	午前				○			
	午後	○						
リハビリテーション科	午前		○	○	○	○		
	午後	○						
末梢血管外来	午前	○	○					
甲状腺外来	午後		○診療日隔週					

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承ください。

総合病院 院長 内藤 孝 電話 022-365-5175(代)

坂総合クリニック1号館

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
外科	午前	○	○	○	○	○		
腎臓内科	午前			○				
整形外科	午前	○	○	○				
	午後	○		○				
泌尿器科	午前	○	○		○	○		○診療日隔週
形成外科	午前	○		○				○診療日隔週
	午後		○			○		
耳鼻咽喉科	午後	受付13:00～16:00		受付13:00～16:00			受付8:30～11:30	
産婦人科	午前	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診 ○11:30迄	妊婦健診 ○	妊婦健診～11:30迄 ○	○	
	午後	○ 妊婦健診				妊婦健診		
精神神経科	午前	○	○	○	○	○		○診療日11/18予定
	午後			○		○		
眼科	午前	○	○	○	○	○		○診療日隔週
	午後		○	○				
皮膚科※	午前		○			○		○診療日隔週
	午後		○14:30～16:00			○14:30～16:00		
血液科	午後		○			○		
禁煙外来	午後			○診療日隔週				
		＜各科外来受付時間＞						
		●午前 新患8:30～11:30 再来8:30～11:30		●午後 予約制となっています				
※皮膚科の診療は医師体制上の都合により、予約外の方は緊急性のある方以外はお受けできません。ご了承下さい。								

坂総合クリニック2号館

※内科一般外来は午前からのみの診療となります（午後は休診となります）。

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後							
糖尿病代謝科	午前	○	○	○		○		○診療日隔週
	午後	○	○		夜間外来（隔週）			
循環器科	午前	○	○	○	○			○月1回
	午後		○			ペースメーカー外来 診療日隔週		
呼吸器科	午前	○		○		○		○月1回
	午後	○	○	○		○		
緩和ケア科	午前		○		○			
漢方科	午前	○	△	△		○		○月2回
	午後	○	△	△	△夜間外来	○		
高脂血症外来	午前			○				
心臓血管外科	午後			○		○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後			育児検診				
		予防接種 受付 13:30～14:30						

●当院の外来は全面予約制ですので、来院前にお電話下さい。漢方は診療変更が多い日を△にしています。

電話番号：予約コールセンター 022-361-8288

電話予約受付時間：平日8:30（小児科のみ8:00から開始）～16:30、土曜日8:30（小児科のみ8:00から開始）～11:30

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承ください。

坂総合クリニック 所長 高橋 洋 電話 022-361-7011(代)

市民公開講座ご案内

坂総合病院市民公開講座

緑内障とアイバンク

— 東北大学医学部眼科学教室教授を講師に迎えて —

2017年

11月11日 14:30-16:15

マリングート塩釜 (3階マリンホール)

無料
申込不要

講演

「緑内障から自分を守るために
知っておくこと」

講師：中澤 徹 先生

(東北大学医学部眼科学教室 主任教授)



講演

「アイバンクの役割について」

講師：横倉 俊二 先生

(東北大学医学部眼科学教室 講師)



お問い合わせ

坂総合病院 地域連携室
TEL: 022-365-5175 (代)

地域医療連携センターから

○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
6月	665	800
7月	742	851
8月	768	830
9月	692	938

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。

※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

- 平日 / 8時30分～17時
 - 土曜日 / 8時30分～12時30分
- TEL 022-361-4700**
※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

TEL 022-361-8288

平日(月～金)：8時30分～16時30分
(小児科のみ8時から開始)

土曜日：8時30分～11時30分
(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。
※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院代表番号にお電話をお願いします。



- 電車をご利用の場合
JR仙石線・下馬駅下車 (駅前が病院です。)
- お車をご利用の場合
以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力をお願いいたします。

編集後記

いよいよ秋も深まり紅葉も落ち着いて錦秋から冬の装いも感じられるくらい寒い季節になってきました。皆さま、体調管理のほうは大丈夫でしょうか。今年も残すところあと2ヶ月となりました。今号では患者様・ご家族が快適に病院を利用していただけよう接遇改善の取り組みなど、院内での様々な行事など紹介させていただきました。現在、みやぎ東部健康福祉友の会(旧坂病院友の会)では会員さんを増やす拡大強化月間に取り組んでおります。地域の方々と手を携えながら特に社会保障の改善運動など進めていくものです。ぜひ多くの方に入会していただければと思います。(1)

公益財団法人 宮城厚生協会
坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5
電話 022-365-5175 (代表)
FAX 022-365-3620
http://www.m-kousei.com/saka/

